

令和7年度採用

群馬県公立学校教員選考試験問題

## 中学校（社会）

受験 番号	中社会	氏 名	
----------	-----	--------	--

### 注意事項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから12ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があつたら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と解答用紙の両方を机の上においてください。
- 5 「退席」の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

- 1 「世界の諸地域」における「オセアニア州」の学習において、「オセアニア州と他地域の結び付き」に着目し、資料1の単元計画に基づき学習を進めた。後の(1)～(5)の問いに答えなさい。

資料1 単元計画

時	「○」は主な学習活動 「・」は主な学習内容
1	○オセアニア州の国々に関する諸資料を基に、単元の課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>【単元の課題】</b>「オセアニア州は、なぜアジアとの結び付きが強くなったのだろうか」 </div>
2	○移民の歴史と多文化社会への変化について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>A</u> 資料から移民の歴史について考察する。</li> <li>・ <u>B</u> 移民政策の変更や <u>C</u> 先住民の文化の尊重から、多文化社会が進んでいることを理解する。</li> </ul>
3	○オセアニア州の産業が、日本をはじめとするアジア諸国との結び付きを強めていることを資料から読み取る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ オーストラリアをはじめとするオセアニアの国々の農産物や豊富な資源の特色について理解する。</li> <li>・ <u>D</u> アジアとの結び付きがどのように強まったのか考察する。</li> </ul>
4	○オセアニア州がアジアと結び付きが強くなった理由をまとめる。

- (1) 資料1にある**【単元の課題】**を設定するために、教師は、資料2を提示した。資料2からどのような疑問をもたせられるとよいか書きなさい。

資料2 オーストラリアに暮らす移民の変化

- (2) 資料1中の下線Aについて、教師は、欧米による植民地支配のなごりを捉えさせるため、オーストラリアを例にして資料を提示することとした。どのような資料を提示するとよいか。その資料から捉えさせたい内容とともに書きなさい。
- (3) 資料1中の下線Bについて、教師はオーストラリアの政策を取り上げた。ヨーロッパ以外からの移民が増加した理由を、オーストラリアが行っていた具体的な政策内容と関連付けて書きなさい。
- (4) 資料1中の下線Cについて、オーストラリアとニュージーランドそれぞれの国の先住民の名称を書きなさい。

- (5) 資料3は、資料1中の下線Dについて、生徒が話し合った内容である。後の①～③の問いに答えなさい。

資料3 生徒が話し合った内容

- a: オーストラリアには、鉄鉱石や石炭などの鉱産資源が豊富にあり、現在はそれらを日本や中国などに向けて輸出しているね。
- b: 以前はヨーロッパの国々との関係が深かったけど、オーストラリアは方針を変えたんだね。
- c: アジアとの関係を重視したことにより1989年に発足した(7)の結成を主導したほどだよ。
- a: そういえば、資料4を見るとオーストラリアと日本は、より活発に貿易ができるようになるため  。
- c: それはお互いの国にとってメリットがあるね。
- b: 現在は、さらにその品目が多くなっているようだよ。
- d: また、オーストラリアは、E ヨーロッパよりも時差が小さく、日本や韓国などからの観光客も増えているみたいだよ。
- b: そういえば、私の姉は修学旅行でオーストラリアに行っていたわ。

- ① (7) に当てはまる語句を書きなさい。 資料4 日本とオーストラリア(豪州)の貿易
- ②  の部分に当てはまるオーストラリアと日本の貿易の特徴として捉えさせたいことを、資料4と関連させて、生徒が話し合った内容に合うように書きなさい。
- ③ 資料3中の下線Eについて、資料5を参考に、イギリスの首都ロンドンが1月1日午前0時のときの、オーストラリアの首都キャンベラの日時を書きなさい。なお、サマータイムは考慮しないものとする。

資料5 世界地図 (キャンベラの位置)

- 2 「日本の諸地域」における「九州地方」の学習において、「自然環境を中核とした考察の仕方」に着目し、地域的特色や地域の課題を捉えることとした。次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

**資料1 宮崎市と福岡市の雨温図**

- (1) 資料1は宮崎市と福岡市の雨温図である。生徒はこの雨温図を比較して、「なぜ、宮崎市の6月～9月の降水量は福岡市より特に多いのか」という疑問をもった。位置と気象の特徴を関連付けて、その理由として考えられることを書きなさい。
- (2) 第2時以降は、九州地方の地域的特色を生徒が調べ、まとめる活動を行った。資料2は、1班が作成した資料である。後の①～④の問いに答えなさい。

**資料2 1班が作成した九州地方の「魅力マップ」**

- ① 資料2中の(ア)、(イ)、(ウ)に当てはまる語句を書きなさい。
- ② 資料2中の下線Aについて、この地域で畜産業が盛んに行われるようになった理由を地形の特色を踏まえて書きなさい。

- ③ 教師は各班が作成した「魅力マップ」の中から、2班が作成した資料3の記述に着目するようクラス全体に促した。この記述から、九州地方の貿易の特色として、教師が捉えさせたい内容を資料4と関連付けて書きなさい。

資料3 2班が作成した「魅力マップ」の一部

資料4 九州の位置

- ④ 単元の「まとめる」過程において、教師は各班で作成した「魅力マップ」を互いに見合い、比較する活動を設定した。このような活動を設定した教師の意図を書きなさい。

- (3) 教師は、九州地方を「自然環境を中核とした考察の仕方」で取り上げ、その後、北海道地方を同様の考察の仕方、地域的特色や地域の課題を捉えることを計画した。北海道地方の事象の取り上げ方の工夫として教師が留意すべきことを、「九州地方と…」に続く形で1つ書きなさい。

3 「古代までの日本」の単元において、「縄文時代と弥生時代の暮らし」の学習を進めた。資料1は、縄文時代と弥生時代の生活の違いを捉えるために生徒がまとめた表である。後の(1)～(7)の問いに答えなさい。

資料1 縄文時代と弥生時代の生活の違いを捉えるために生徒がまとめた表

	主な食べ物	土器・道具	代表的な遺跡	人々の生活
縄文時代	<ul style="list-style-type: none"> <li>木の実、小型の動物等</li> <li><u>A 魚、貝</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食料の保存や煮炊きのために縄文土器を使用</li> <li><u>B 装飾品としてヒスイを加工</u></li> <li>折りやまじないのために(ア)を使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(ウ)遺跡</li> <li>&lt;青森県&gt;</li> <li>【(ウ)遺跡の遺構】</li> <li>大型の掘立柱建造物の跡</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>狩猟・採集生活</li> <li>家族を中心に集団で定住し始める</li> <li>ムラの誕生</li> </ul>
弥生時代	<ul style="list-style-type: none"> <li>木の実、小型の動物等</li> <li>魚、貝</li> <li>穀物(米、あわ、ひえ、小麦、小豆等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>米の保存や煮炊きに適した弥生土器の使用</li> <li>農具や武器用として鉄の使用</li> <li>宝物や儀式用として(イ)の使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>C 吉野ヶ里遺跡</u></li> <li>&lt;佐賀県&gt;</li> <li>【吉野ヶ里遺跡の遺構】</li> <li><u>(X)大量の副葬品が集中する大型の墳丘墓</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農耕生活</li> <li>(Y)環濠をめぐらした<u>ムラの登場</u></li> <li><u>D ムラからクニへの成長</u></li> </ul>

資料2 過去8000年間の地球の平均気温の変動

資料3 縄文時代のヒスイの産地や出土遺跡等の分布の一部

- 資料1の表をまとめる際、生徒はデジタル教科書上の「縄文時代と弥生時代の集落の様子」が描かれた2枚の絵図を上下に置いて見比べながら、歴史的事象に関する情報を読み取った。紙媒体でなく、1人1台端末を用い、生徒がデジタル教科書の絵図で読み取る利点を書きなさい。
- 資料1の(ア)～(ウ)に当てはまる語句を書きなさい。
- 資料1の下線Aについて記述した生徒が、約6,500年前頃の貝塚が現在の海岸線より内陸に点在していることを疑問に思った。その理由を、教師は資料2を読み取って考えるよう促した。生徒はどのようなことを読み取れるとよいか書きなさい。
- 資料1の下線Bについて、教師が縄文時代の人々の交流を深く調べることができるようにするため、資料3を提示した。生徒は、どのようなことに気付けるとよいか書きなさい。

- (5) 資料1の下線Cの周辺には、弥生時代初期のムラが多いことに生徒が気付いた。その理由を、教師は資料4と関連付け考察するように促した。理由について、生徒がどのようなことを考えられるとよいか書きなさい。

資料4 日本列島への稲作伝播に関する推定ルート

- (6) 生徒が弥生時代の人々の生活をまとめるために、史料1を調べたところ、下線Eについて、「なぜ、倭の王達は漢との朝貢関係を結んだのか」と質問してきた。当時の日本の状況を踏まえ、朝貢の目的をどのように説明できるとよいか。資料5の(I)に当てはまるように書きなさい。

史料1 「後漢書」東夷伝の一部（部分要約）

建武中元2(57)年にE 倭の奴国が漢に朝貢したので、光武帝は印綬を送った。

資料5 質問に対する教師の説明

倭の王達は貢物を持たせた使者を中国に送り、中国の皇帝から金印や返礼品を受け取ることで(I)。

- (7) 教師はこの学習の最後に、資料1の下線Dについてまとめる活動を行った。その際に資料1の下線(X)と(Y)を関連付けてまとめるように指示をした。どのようにまとめられるとよいか書きなさい。

4 「近代の日本と世界」において、単元の課題を「なぜ、江戸幕府は開国後わずか十数年で滅亡したのだろうか」と設定し、資料1の学習シートを使い学習を進めた。後の(1)～(6)の問いに答えなさい。

### 資料1 学習シート

時	主な学習活動	各時間のまとめ	振り返り
1	○単元の課題をつかむ。	【単元の課題】 なぜ、江戸幕府は開国後わずか十数年で滅亡したのだろうか。	・どうして260年余り続いた幕府が、開国後すぐに滅亡してしまったのかな。
2	○日本が開国した経緯と不平等条約の内容を捉える。	・ペリー来航をきっかけに、欧米諸国と不平等な通商条約を相次ぎ結ぶことになった。	・(a)産業や海外貿易において欧米諸国が一方的に有利な条件なのは納得いかない。開国後の日本が心配だ。
3	○開国後の日本の社会への影響を捉える。	・開国後のA 経済の混乱や幕府に対する政治的・社会的な批判が幕府への不満やB 幕府の動揺につながった。	・開国により、幕府は朝廷の意向を無視できなくなり、庶民も社会不安を募らせるなど、幕府の立場が弱くなっていくのだな。
4	○攘夷から倒幕への動きを捉える。	・坂本龍馬を仲介役として薩長同盟が結ばれ、大政奉還から王政復古への動きとなった。	・(b)薩摩・長州は、攘夷が困難なことに気づき、対外政策を転換したのだな。明治維新の志士について、もっと調べてみたい。
5	○単元のまとめを行う。	【単元のまとめ】 開国後の混乱のなかで、幕府への批判や不満が高まり、「天皇を中心とする政治」と「 <input type="checkbox"/> 」を目指す倒幕の動きが大きくなり、江戸幕府滅亡につながった。	・(c)どのように明治政府は、新しい国づくりを目指したのだろうか。明治時代の学習が楽しみだな。
6	○発展学習	・開国については、当時の立場や時代背景から様々な理由や主張があり、開国論争は当時の人々が真剣に悩み、選択した対外政策の成果であることが分かった。	
7	・C 開国について、討論する。		

(1) 「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編」の内容の取扱いでは、本単元では「開国とその影響については、欧米諸国のアジア進出と関連付けて取り扱うようにする」とある。欧米諸国がアジアに植民地支配を始めた背景として、生徒はどのようなことを捉えておけるとよいか書きなさい。

(2) 資料1の第1時において、教師が幕末の略年表として資料2を提示した。(ア)～(ウ)に当てはまる語句を書きなさい。

### 資料2 幕末の略年表

年	主な出来事
1853	ペリーが浦賀に来航する
1854	(ア) 条約が結ばれる
1858	日米修好通商条約が結ばれる
	○
	○
	○
1866	薩長同盟が結ばれる
1867	世直し運動「ええじゃないか」が全国に広まる 15代将軍(イ)が大政奉還を行う 朝廷が王政復古の号令を出す
1868	(ウ) 戦争が起こる 江戸幕府が滅亡する



- (3) 第3時では資料1の下線Aについて、資料3のような会話があった。前後の会話がつながるように  と  に当てはまる言葉をそれぞれ書きなさい。

**資料3 教師と生徒の会話の一部**

生徒1：「なぜ、最初は輸出超過だったのに、欧米諸国との貿易によって、庶民の生活が苦しくなっていたのですか？」  
 教師：「よい質問だね。輸出については、生糸を例に考えてみよう。輸出が生糸に集中し、国内で品不足になるとどうなるかな？」  
 生徒2：  
 教師：「その通り。生糸だけでなく、他の品物にも影響が出てくるね。更に、当時、日本と外国で金と銀の交換比率が違ったのも問題だったんだ。具体的には、日本では交換比率が“金1：銀5”だったのに対し、外国では“金1：銀15”だったため、幕府はある問題に頭を抱えてしまうんだ。さて、どんな問題が起きたのかな？」  
 生徒3：  
 教師：「そうなんだ。この対策として幕府は金貨の品質を下げ、小判を鋳造し直したのだけど、結果、庶民の生活はますます苦しくなってしまったんだ。」

- (4) 資料1の下線Bについて、生徒は資料2の『-----』の時期の主な出来事を時系列で整理したいと考えた。以下の①～③の出来事をこの時期に起きた順に記号で並べなさい。

- ① 桜田門外の変  
 ② 14代将軍と天皇の妹の結婚  
 ③ 安政の大獄

- (5) 資料1の第5時において、単元の課題についてのまとめを  のように記述させたい。資料1の振り返りの点線部(a)～(c)を踏まえ、生徒はどのような単元のまとめを書けるとよいか、資料1の【単元のまとめ】の文中  に当てはまる言葉を書きなさい。

- (6) 資料1の下線Cについて、第6・7時に、発展学習として、開国について「自分で立場を選び、社会的事象を整理・分析・立論しながら、討論する授業」を実践した。次の①、②の問いに答えなさい。

**資料4 生徒と共有した評価基準**

A	開国について、資料を比べたり関連付けたりしながら事実の整理を行い、(エ)を示しながら、欧米の国々の様子や開国後の日本の変化について説明をしている。
B	開国について、資料を基に(エ)を示して、欧米の国々の様子や開国後の日本の変化について説明をしている。

- ① 資料4は、発展学習に入る前に、生徒と共有した評価基準である。学習にあたり、生徒がどのようなことをおさえた上で学習に取り組んでいけるとよいか、資料4の(エ)に適する語句を下の語群から1つ選んで書きなさい。

- ② 学級全体での討論の後、教師はもう一度各自で考えてまとめる時間を確保した。教師は、なぜ全体討論で終えず、一人一人に再考する時間を取ったのか、その意図を書きなさい。

- 5 「私たちと現代社会」における「現代社会を捉える枠組み」の単元の学習について、資料1の単元計画に従って学習を進めた。後の(1)～(5)の問いに答えなさい。

資料1 単元計画

時	「○」は主な学習活動 「・」は主な学習内容
1	○身近なA <u>社会集団</u> で起こる対立を解決するための活動を通して、単元の課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【単元の課題】</b>            社会の中で起こる課題を解決するためには、ルールや決まりをどのように決めていくべきだろうか。</p> </div>
2	○身近に起こる対立を、どのように話し合っ解決すべきなのか話し合う。 ・身近に起こる対立に関する問題の概要を把握し、物事の決定の仕方やB <u>決まりの意義</u> について理解する。 ・C <u>話し合いによる決め方の長所と短所</u> を検討するとともに、問題場面にふさわしい決め方を考える。
3	○身近に起こる対立に関する問題のD <u>解決方法</u> を調べる。 ・身近に起こる対立に関する問題の解決方法を個人で考える。
4	○身近に起こる対立に関する問題の解決方法を話し合う。 ・問題の解決方法について、よりよい案になるように班で多面的・多角的に考える。 ・ルールの作成を通して、効率と公正の考え方の必要性を考察し、概念を理解する。
5	○状況に応じて決まりの見直しを行うことの必要性を、効率と公正に着目して考察し、単元の課題に対するまとめを行う。 ・新たに生じた問題から解決するための方向性を把握することで、効率や公正の観点から決まりを見直す意義を理解する。 ・決まりの見直しについて、変更された決まりの妥当性を多面的・多角的に考える。

- (1) 資料1の単元計画を作成するために、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編」を参考にした。資料2は生徒に身に付けさせるべき知識である。後の①、②の問いに答えなさい。

資料2 「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編」の一部

ア 次のような知識を身に付けること。

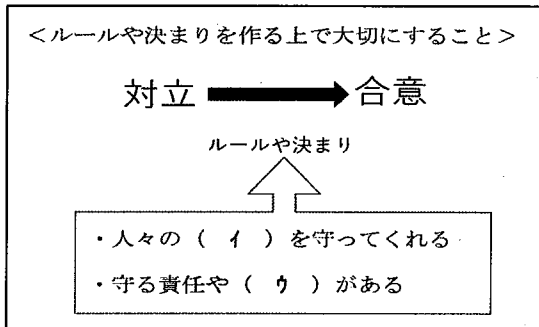
(ア) 現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、(i) 効率と公正などについて理解すること。

(イ) (ii) 人間は本来(ア)的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解すること。

- ① 資料2の下線(i)を「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編」では、どのような考え方であると示しているか、書きなさい。
- ② 資料2の下線(ii)について、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編」では、「人間は一人で生きているのではなく、様々な社会集団を形成し、その一員として生活していること」と意味付けている。この意味に合うように、(ア)に当てはまる語句を漢字2字で書きなさい。
- (2) 資料1の下線Aについて、社会集団の中で私たちが生まれて最初に出会う身近な社会集団の例を1つ、書きなさい。

- (3) 資料1の下線Bの内容を捉えさせるために板書をしてまとめた。資料3は、その板書の一部である。(イ)、(ウ)に当てはまる語句を、それぞれ漢字2字で書きなさい。

資料3 板書の一部



- (4) 資料1の下線Cについて、教師は問題の事例を資料4のように設定した。後の①、②の問いに答えなさい。

資料4 問題の事例

A中学校のソフトテニス部では、市大会前のプレ大会に参加しましたが1回戦で負けてしまいました。そこで、本番の大会では1回戦を突破できるように、今後の練習方法等を見直すための話し合いを行うことになりました。

- ① 教師は資料4について、話し合いの参加者に注目させ、効率や公正の観点から話し合いによる決め方の長所と短所を考えられるように、資料5の表を提示した。表の(エ)には、どのような内容が入るとよいか、書きなさい。

資料5 話し合いによる決め方の長所と短所をまとめた表

決め方	長所	短所
部員全員の話し合い		
部長と副部長、キャプテンの話し合い		(エ)

- ② 話し合いの採決を、多数決で決定する場合に留意すべきことは何か書きなさい。

- (5) 資料1の下線Dについて、授業の終末に、あるお店のレジでの並び方の事例を示し、効率と公正について考える活動を設定した。資料6から資料7のように各レジに行く方法を変えた場合、資料7では何が利点になるか、効率・公正の観点からそれぞれ書きなさい。

資料6 各レジにそれぞれ並ぶ方法

資料7 1列に並び、空いたレジに行く方法

6 民主政治と政治参加の学習における「地方自治」の学習に関する内容について、「持続可能な市にするために、私たちは、地方自治にどのように関わるのが大切なのだろうか」という単元の課題を設定し、学習を進めた。次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 資料1は地方自治の政治の仕組みに関わる内容を、生徒がまとめたワークシートである。後の①、②の問いに答えなさい。

資料1 二元代表制について生徒がまとめたワークシート

資料2 提示資料

① 資料1で「地方公共団体における議会と首長は、互いに抑制し合い、均衡を保つ関係にある」ということを付け加えさせるため、新たに資料2を提示した。資料1、資料2の(ア)、(イ)に当てはまる語句を書きなさい。(資料1、2の(ア)、(イ)には同様の語句が入る。)

② 地方自治の基本的な考え方について理解できるようにするため、生徒に二元代表制の良さを考えさせた。生徒がどのような考えをもてるとよいか、以下の文章の  に当てはまるように書きなさい。

首長と地方議員の両方が直接選挙で選べるため、

- (2) 地方財政について考察させるために、教師は資料3～資料7を提示した。次の①～③の問いに答えなさい。

① 資料3の歳入について、国庫支出金と地方交付税交付金の使い方の違いについて書きなさい。

資料3 平成19年度B市の歳入・歳出

- ② 「B市の財政における課題」を考えさせるため、資料4、資料5を関連付けて考えるように促した。これらの資料から財政の課題としてどのようなことを生徒が捉えられるとよいか、書きなさい。

資料4 B市の市債の発行残高の推移

資料5 廃止・中止を検討中の行政サービス

- ③ 「B市の財政における課題」を解決するため、資料6、資料7を関連付けて考えるように促した。これらの資料から市町村合併に期待される効果としてどのようなことを生徒が捉えられるとよいか、書きなさい。

資料6 合併に伴う議員数・公共施設数の変化

資料7 行政サービスに係る支出額(B市・C町は推計)

- (3) 直接請求権について、資料8のように生徒がまとめた。後の①、②の問いに答えなさい。

資料8 直接請求権について生徒がまとめた表

- ① 首長の解職請求のことを別の言い方で何というか、カタカナで書きなさい。
- ② 請求事項の下線Aと下線Bを比べると、必要な有権者の署名数と請求提出後の扱い等に違いがある。なぜそのような違いがあるのか、「議会の解散請求は」に続けてその理由を書きなさい。

社会 解答用紙	2枚中の1	受験番号	中社会	氏名	
---------	-------	------	-----	----	--

(7年)

1	(1)				
	(2)	資料			
		内容			
	(3)				
	(4)	オーストラリア		ニュージーランド	
(5)	①	ア			
	②	イ			
	③				

2	(1)				
	(2)	①	ア	イ	
			ウ		
		②			
		③			
	④				
(3)	九州地方と				

3	(1)				
	(2)	ア		イ	
			ウ		
	(3)				
	(4)				
	(5)				
	(6)	イ			
(7)					

社会 解答用紙	2枚中の2	受験番号	中社会	氏名	(7年)
---------	-------	------	-----	----	------

4	(1)				
(2)	7			1	
	ウ				
(3)	i				
	ii				
(4)	→		→		
(5)					
(6)	①	I			
	②				

5	(1)	①			
(2)	②	7			
(3)	イ			ウ	
(4)	①	I			
	②				
(5)	効率				
	公正				

6	(1)	①	7			1	
(2)	②	Y					
	①						
	②						
(3)	③						
	①						
	②	議会の解散請求は、					

以下はあくまでも解答の一例です

社会 解答用紙	2枚中の1	受験番号	中社会	氏名	(7年)
---------	-------	------	-----	----	------

1	(1)	なぜアジア州の移民が1981年を境に急増したのか 等				5点
	(2)	資料	オーストラリアの国旗 等			3点
		内容	以前植民地支配され、今でもイギリス連邦の一員であることを捉えさせるため 等			3点
	(3)	白人以外の移民を厳しく制限する白豪主義をとっていたが、1970年代に撤廃されたため 等				4点
	(4)	オーストラリア	アボリジニ	3点	ニュージーランド	マオリ 3点
		①	7	アジア太平洋経済協力会議 (APEC)	3点	
	(5)	②	X	一部の輸入品にかかる税金をお互いになくす取組をしている 等		5点
		③	1月1日 午前10時			5点

2	(1)	宮崎市は太平洋側に位置しているため台風が頻繁に近づくこと 梅雨前線の影響を長く受けること 等				4点		
		①	7	地熱	3点	イ	促成栽培	3点
			ウ	観光	3点			
	(2)	②	シラスは栄養分がなく、水を蓄えにくい土壌のため稲作には適さない。そのため、畑作が多く、また、家畜の糞を肥料として使用するため、古くから牛や豚が育てられてきたから 等				4点	
		③	九州地方は日本の他の地域と比べて、中国や台湾等アジア諸国に近い。そのため、輸送費が他の地域と比べ安く、輸送時間も短いという利点を生かした貿易ができる 等				4点	
		④	互いの見方や考え方を比較したり、参考にしたりしながら、九州地方の産業の特色や自然環境との関わりに対するクラス全体や個人の考えを深め (広げ) ようとした。等				5点	
	(3)	九州地方と 異なる特色のある (北海道地方の) 事象を中核とすること (取り上げること) 比較しやすい (北海道地方の) 事象を取り上げること 等				5点		

3	(1)	自分の気になる箇所を拡大して見ることができる 等				3点	
	(2)	7	土偶	3点	イ	青銅	3点
		ウ	三内丸山	3点			
	(3)	現在より気温が高く、海面が上昇していたため、海が内陸の奥地まで入り込んでいたこと 等				5点	
	(4)	産地が限定されるヒスイが広範囲で発見されていることから、縄文人の交易が広い範囲まで拡大していたこと 等				4点	
	(5)	稲が九州北部から日本各地に広まり、稲の伝来とともにムラが広がっていったため、弥生時代初期は九州北部にムラが多い 等				5点	
	(6)	イ	王としての称号や地位を認めてもらい、中国の後ろ盾を得ようとしたから 等			4点	
	(7)	稲作の広がりにより、指導者 (権力者) が登場し、彼らを中心にムラ同士の争いを経ながら、ムラからクニへ発展していった 等				5点	



以下はあくまでも解答の一例です

社会 解答用紙	2 枚中の 2	受験番号	中社会	氏名	(7年)
---------	---------	------	-----	----	------

4	(1)	産業革命により、欧米諸国は原料供給地と新たな製品市場の確保を求め、植民地支配に乗り出した 等			4 点	
(2)	7	日米和親	3 点	1	徳川慶喜	3 点
	り	戊辰	3 点			
(3)	i	生糸の価格が上がり、他の品物の物価の上昇につながった 等			4 点	
	ii	大量の金が国外に流出してしまった 等			4 点	
(4)	Z → X → Y			4 点		
(5)	欧米諸国に対抗できる近代国家・欧米諸国と対等な主権国家 等			4 点		
(6)	①	Ⅰ	根拠	3 点		
	②自分の意見の変容や深化した点に気付き、自分の考えを練り直すため 自分の意見の変容や深化した点に気付き、自分なりの納得解を出すため 等				3 点	

5	(1)	①「無駄を省く」という考え方 等			4 点
(2)	②	7	社会	3 点	
	家庭・地域社会・親族のうち一つ			3 点	
(3)	1	権利・利益・人権のうち一つ		3 点	り 義務 3 点
(4)	①	Ⅰ	一人一人の意見は反映されにくい 等		4 点
	②	少数意見を尊重することも大切である 等			4 点
(5)	効率	空いたレジができないこと 等			4 点
	公正	早く並んだ人からレジに順番にいけること 等			4 点

6	(1)	①	7	解散	3 点	1	不信任決議	3 点
		②	Y	住民の意思が地方自治に強く反映できること 等			5 点	
(2)	①	地方交付税交付金は使い道が決まっていないが、国庫支出金は使い道が決まっている 等					4 点	
	②	町の借金が増え続けることにより、必要な行政サービスが行えなくなること 等					5 点	
	③	議員定数の減少や、公共施設の統廃合で支出が大幅に削減されたことにより、行政サービスに係る支出額の増加（行政サービスの向上）が期待できる 等					5 点	
(3)	①	リコール			3 点			
	②	議会の解散請求は、権力の行使に直接関わる重要な権利であり、議員が職を失うことの重大さもあるため条例の制定・改廃等よりも多くの署名数や住民の意思確認が必要になる 等					5 点	